

大田区は、23区最大の面積を有し、崖線の緑、多摩川や呑川などの河川及び臨海部など、“**みどり**”と“**みず**”に触れ合うことができる地域特性を持っています。

また、公園内に古墳のある“多摩川台公園”や東京都指定名勝である“洗足池公園”など、特色ある公園を楽しむことができる区です。

「大田区緑の基本計画グリーンプランおおた」によるみどりのまちづくりの推進

大田区では、「大田区緑の基本計画グリーンプランおおた」を令和5年3月に改定し、みどりを増やし、保全する取組に加え、今あるみどりを更新・活用していく「質」に関する取組を推進していきます。

また、重点的な取組のひとつとして令和7年3月には「大田区グリーンインフラ事業計画」を策定し、持続可能なみどりのまちづくりを目指した取り組みをさらに加速させていきます。



大田区グリーンインフラ事業計画の推進



図 グリーンインフラ導入イメージ

グリーンインフラの取組方針として、【防災・減災】【環境】【地域振興】の3つの視点で、みどりのまちづくりの課題解決を目指します。

事業計画では、地域特性や課題を踏まえた目標・指標を設定し、計画的・効果的にグリーンインフラの取組を推進していきます。

グリーンインフラ推進方針



自然観察路の整備 ～身近な自然を探しに行こう～

大田区では、自然環境を観察するのに適した5つのモデルコースを設定し、現地に案内板を設置しています。



区民協働調査、調査情報の提供 ～パンフレットの制作～

区民協働による自然調査を実施し、区民が身近に親しめるよう、各種パンフレットを制作し、配布しています。



自然観察会

区内初の東京都指定名勝である洗足池公園でのバードウォッチングの様子。毎年多くの参加者でにぎわいます。

